

2022年8月9日

株式会社 INPEX
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州における水素ハブ開発に向けた 豪 AGL Energy Limited との協業覚書の締結について (お知らせ)

株式会社 INPEX (以下、当社) は今般、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のハンターバレーの水素ハブプロジェクト (Hunter Energy Hub、以下、ハンター水素ハブ) の実現可能性調査に関する覚書を、豪州の発電会社である AGL Energy (以下、AGL) との間で締結しましたので、お知らせいたします。ハンター水素ハブは、2022年6月17日に発表いたしました南オーストラリア州のトーレンズ島における水素ハブプロジェクト (Torrens Hydrogen Hub) に加えて AGL との 2 件目の案件で、再エネ由来の水素製造、水素の輸出等の可能性調査を視野に入れております。当社は、AGL およびその他プロジェクト参画会社と共に、ハンター水素ハブの実現可能性を追求してまいります。

ハンター水素ハブでは、AGL が所有する Liddell 石炭火力発電所の跡地および周辺における既存インフラを活用して、ニューサウスウェールズ州のハンターバレー地区に水素産業を導入することを目的とします。また、日本までの距離が比較的近い同州ニューカッスル市が輸出港候補に挙がるなど、将来的には日本やその他海外への水素エネルギー等の輸出の拠点としての役割が期待されています。

当社は、2022年2月に発表した「長期戦略と中期経営計画 (INPEX Vision @2022)」において、ネットゼロ 5 分野の取り組みの一つとして「水素事業の展開」を掲げ、2030年頃までに3件以上の事業化を実現し、年間10万トン以上の水素・アンモニアの生産・供給を目指すこととしております。今後もエネルギー開発・安定供給の責任を果たしつつ、2050年ネットゼロカーボン社会の実現に貢献すべく、エネルギー構造の変革に積極的に取り組んでまいります。

【同プロジェクトの概要】

プロジェクト想定期間	2022年7月～2022年12月
プロジェクト参画各社 (当社含む)	AGL Energy Fortescue Future Industries Osaka Gas Australia INPEX (当社) 他、数社が参画

以上